

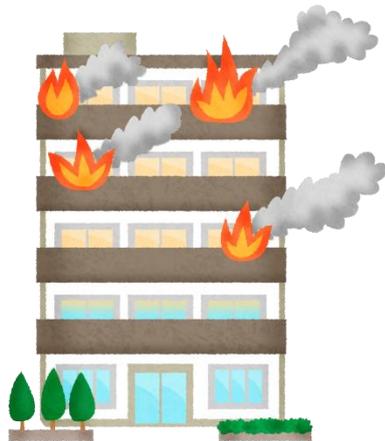
## 過去の災害を学ぶ

2月に起きた

過去にあった災害から注意すべきことを学びましょう。

### 昭和 57 年 2 月 8 日 ホテルニュージャパン火災 (1982 年)

1982 年(昭和 57 年)2 月 8 日午前 3 時 20 分ごろに東京都千代田区永田町 2 丁目のホテルニュージャパンで火災が発生しました。直接の原因はイギリス人宿泊客の寝タバコの不始末(吸殻の放置が原因でベッドの毛布または敷布に着火したとされています。なお、この失火者のイギリス人男性はドアから廊下には避難していたが、のちに死亡(焼死)が確認されています。)でしたが、同ホテルの内部構造上の問題に加え、当時同ホテルのオーナー兼社長の利益優先主義に基づく経営やずさんな防火管理体制などもあり、被害が拡大しました。最終的な被害は、死者 33 人、負傷者 34 人を出し、大惨事となりました。



経営者である社長は防火および消火設備の維持管理や従業員に対する指導を怠り、被害を拡大させたとして刑事責任を問われ、業務上過失致死傷罪により禁錮 3 年の実刑判決を受けています。

ホテルニュージャパン火災を教訓として、消防設備の徹底、スプリンクラーや火災報知器などの設置を「コスト」ではなく「必須の安全投資」と捉えること。経営者の責任と安全管理を厳格に、防火・防災意識の向上、ホテル・宿泊施設では、特に客室での寝たばこなどの不始末が火災に直結するため、従業員教育や宿泊客への啓発を促進、迅速な情報伝達と避難誘導、初期対応の遅れが被害を拡大させた。火災発生時の即時通報、避難誘導體制を確立する。日本の防火基準は厳格化され、ホテルやビルにおける安全管理体制の再構築が進められました。



#### ★ホテルなどの宿泊先で防災上注意すること

ホテル宿泊時の防災で最も重要なのは、チェックイン直後に「避難経路(特に非常階段)」、「消火器・AED の位置」、「部屋から外への脱出ルート」を 2 本のルート以上確認することです。ドアの内側の避難図を必ず見ましょう。揺れや火災時は、エレベーターを使わず、係員の指示に従ってください。

#### ○具体的な注意点

##### 1 入室直後のチェック(最重要)

- ・避難経路の確認→ 部屋から一番近い非常口(階段)と、2 つ目の避難経路(別の階段や非常用ハシゴ)を確認する。
- ・避難経路図の確認→ ドアの内側に掲示されているマップで、位置を確認する。
- ・避難経路を実際に歩く→ 荷物が置かれていないか、非常口が施錠されていないか確認する。

- ・消火器・AED・館内放送スピーカーの位置確認→ 部屋の近くにあるものを把握しておく。
- ・防煙フードの設置場所→ 客室にある場合、その場所を確認する。

## 2 地震発生時の対応

- ・身の安全確保を第一に。揺れを感じたら、まずは机の下にもぐり、クッションや枕で頭を守る。揺れが収まってから行動をする。震災中は無理に移動しない。
- ・揺れでドアが歪んで閉じ込められるのを防ぐため、ドアを開ける。
- ・避難時はエレベーター厳禁。階段を使って避難する。

## 3 火災発生時の対応

- ・煙を吸わないよう濡れタオルや衣服で口と鼻を覆い、姿勢を低くして避難する。
- ・館内放送・従業員の指示に従うこと。独断行動は危険。



## 4. 部屋での備え・注意

- ・貴重品・防災グッズの管理を。すぐに持ち出せるよう、フロント近くの金庫や目立つ場所に置いておく。
- ・寝タバコ・火の不始末。火災の最大要因。絶対に行わない。
- ・コンセント・充電器の管理を。トラッキング火災を防ぐため、掃除をし、不具合がないか確認する。
- ・夜間の非常灯を確認。停電時でも場所が分かるか確認する。

## 今月の取り組み

2月の安全に関する取り組みを紹介します。



### ★2月3日(火)・5日(木) 登校指導



2月の登校指導です。

今月の登校指導は3日・5日の二日間実施しました。

今月は寒い日、暖かい日と寒暖の差が激しい日が多くありました。雪の降る日もあり、その日の状況に合わせた服装など、登校の仕方もいろいろです。ポケットに手を入れて歩くと、何かの拍子に転倒した時など、ケガをしてしまうことも考えられます。三中では寒い日には手袋着用などを呼び掛けている。こういう小さなことですが、事故防止につながります。また、おはようございますの挨拶は、健康のバロメータ

ー。朝の挨拶は、自分と周囲の気分を明るくし、心理的な安心感やつながりの感覚を高めて一日をポジティブにスタートさせる効果があります。そんな思いも込めて、あいさつを投げかけています。今月の登校指導も学校経営協議会(CS)委員の皆様にもご協力をいただきました。ありがとうございました。

### ★2月20日(金) がん教育講演会【1年生】

がん教育の主な目的は、正しい知識の習得と命の大切さを学ぶことです。がんが身近な病気であると理解し、予防や早期発見の知識を身に付けること、そして患者や家族への共感的な理解を深め、共に生きる社会づくりに寄与する資質・能力を育むことを目的としています。

もし自分が、そして家族の人が癌になってしまった場合どの様にすればよいか・・・人それぞれで答えは

ないと思います。ただし、実際になった人のお話を聞くことで心構えや考え方の一助になるとと思います。

今回は以前三中にお勤めになさっていた先生をお迎えし、ご自身が大腸がんという厳しい現実を突きつけられた時の思いや過酷な手術、死という覚悟を常に抱えながら過ごした3週間の入院生活のこと、そんな暗闇の中にいた自分を救ってくれた、家族や教え子だった卒業生の励ましの言葉をもらったことなどをお話いただきました。講師の先生のお話は生徒たちの心に深く響いていました。

病気は決して他人事ではなく、体の不調に早く気づくことの大切さや命の尊さを学ぶ機会となりました。



## ★2月13日(金) 避難訓練 (火災) 2月の避難訓練です。



今回は避難行動を伴った火災を設定しての訓練を行いました。何度も行っている訓練ですが、繰り返し行うことがいざ災害が発生した時に、自分の命を守ることに繋がっていきます。今回も連絡放送が入り行動が始まります。火災に際しての初期行動は何をすべきか…各教室とも窓を閉めるなどの行動がしっかりととれていました。校舎外への避難行動も口にハンカチをあて、落ち着いて行動がとれていました。前回、避難行動を入れた訓練よりも、避難にかかった時間(人員報告まで)も短縮されています。

今後も、訓練をしっかりと取り組んでいきましょう。いざという時に、備えるために。



今後も、訓練をしっかりと取り組んでいきましょう。いざという時に、備えるために。

★あらためて…火災発生時の避難時行動を確認します。

### ○火災発生時は……

・「落ち着くこと」「煙を吸わないこと」「戻らないこと」が命を守る鉄則です。

・姿勢を低くしてハンカチ等で口・鼻を覆い、階段を使って速やかに屋外へ逃げましょう。

・初期消火は炎が天井に達する前(目線の高さ以下)のみ行い、それ以上は直ちに避難します。

### ○火災発生時の避難・行動手順

・周囲に知らせる・119番通報

・「火事だ!」と大声で叫び、近隣に知らせる。

・火が小さいうちは初期消火を行うが、火が天井に達したら無理をせず逃げる。

### ○避難の基本行動

・煙を吸わない…煙は有毒で上に溜まるため、姿勢を低くして床近くの空気を吸いながら移動する。



- ・口・鼻を覆う・・・ハンカチやタオル、服などで口と鼻を覆う。
- ・衣服への引火防止・・・服に燃え移ったら、その場に転がって消す。

### ○避難時の注意点

- ・エレベーターは絶対に使用しない → 停電で閉じ込められる危険がある。
- ・避難経路 → 階段を使用。上階からの出火は下の階へ、下階からの出火は屋外へ避難する。
- ・ドアを閉める → 逃げる際はドアを閉め、酸素を遮断して延焼を遅らせる。
- ・一度逃げたら戻らない → 忘れ物などがあっても絶対に戻らない。

### ○逃げ場を失った場合

- ・煙の侵入を防ぐため、ドアの隙間に衣類を詰めて目貼りをする。
- ・ベランダや風上の窓側など、安全な場所で助けを待つ。



## 安全指導

2月の安全指導を振り返ります。

### ★2月16日(月) 安全指導 放送にて実施

時間の関係から、給食時に放送にて、今月の安全指導をおこないました。生活指導部の担当の先生から、SNSのトラブルについての話がありました。

SNSは今、生活にしっかりと馴染んできています。ただ最近、栃木県の高校での暴力動画がSNS上で拡散され大きな問題として社会で取り上げられています。被害者は別の形での苦痛の継続、加害者は個人情報さらされるなど、被害を増幅することになってしまいました。適切な使い方を考えることが大切なことです。以前、安全指導でも話が合った、小平三中SNSルール(KDSNS)の確かな実施が重要です。自分も、他の人も気持ちよく利用できるよう考えていきましょう。トラブルに巻き込まれた際には、一人で悩まず。大人相談すること。

節度ある使用を心掛けていきましょう。



## 安全を考える

不審者発生の報を受けて……



しっかり覚え  
行動に！

1月から2月、小平市内では不審者が出たという注意情報が複数回発令されました。

1月23日・27日には公然わいせつ、下半身露出した男が発生。30日には小学生の女子児童がすれちがった女が体当たりし、小突かれる事案が発生。2月5日には、女子中学生が通学中に男から声をかけられる。そして、12日には上水南町で男性が刃物で切り付けられるという事件が発生しました。自らが注意をしていますが、突然このような事態に遭遇してしまうことがあります。

その時、どうするか……不審な者から不安を覚えるような行為を受けた時、不審者に遭遇した場合は、必ず保護者や近くの大人、警察に知らせる、こども110番の家に助けを求める。そして、「いかのおすし」の約束を確認するとです。

